

鹿屋市自動体外式除細動器（ＡＥＤ）貸出要領

（目的）

第１条 この要領は、本市で開催される各種行事において、参加者が心停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する者への自動体外式除細動器（以下「ＡＥＤ」という。）の貸出しに関し必要な事項を定めるものとする。

（貸出対象）

第２条 ＡＥＤの貸出対象となる行事は、市内で開催され、市民を含む概ね１０人以上の者が参加する健康づくりやスポーツその他の各種イベント、祭典・式典、講習会等とする。ただし、市長が認めるものに関しては、この限りでない。

２ ＡＥＤの貸出対象となる者は、第１項に定める行事を主催する者とする。

（貸出要件）

第３条 当該行事の開催期間中、次のいずれかの者が会場に配置されていなければならない。

（１）医師等の医療従事者及び消防士

（２）消防署その他による、ＡＥＤの使用に必要な講習等を修了している者

（貸出期間）

第４条 ＡＥＤの貸出期間は、当該行事の開催期間及びその前後の期間とし、最長７日とする。ただし、市長が特別な事由があると認める場合は、期間を延長することができる。

（経費）

第５条 ＡＥＤの貸出しは無料とする。

（貸出申請）

第６条 ＡＥＤの貸出しを希望する者（以下「申請者」という。）は、ＡＥＤ借用申請書（第１号様式）を市長に提出しなければならない。

（貸出承認）

第７条 市長は、申請者から前条の申請を受理したときは、これを審査し、適当と認められる場合は貸出しを承認するものとする。

（貸出中の管理）

第８条 申請者は、ＡＥＤを常に良好な状態で保管するとともに、機器の特殊性に配慮した管理に努めることとする。また、次の各号に掲げる事項を遵守するものとする。

（１）ＡＥＤは、取扱説明書に従って適切に使用すること。

- (2) A E Dを目的外に使用しないこと。
- (3) A E Dを処分、転貸、又は譲渡しないこと。

(実績報告)

第9条 申請者は、A E Dを使用した際は、返却時にA E D使用実績報告書（第2号様式）を提出しなければならない。

(損害賠償)

第10条 申請者は、A E Dをその責めに帰すべき理由により故障、破損又は紛失させた場合には、市長の指示に従い、その者の負担においてこれを補償し、又は修理するものとする。

(返還)

第11条 市長は、特に必要と認めた場合は、申請者からA E Dを返還させることができる。

(損害賠償責任)

第12条 市長は、A E Dの使用により生じた事故に対しては、一切の責任を負わない。

附則

この要領は、平成20年8月4日から施行する。

課 長	参 事	課長補佐	係 長	係

第 1 号様式

A E D 借 用 申 請 書

平成 年 月 日

鹿屋市長 様

申 請 者	住所
	電話 ()
	氏名 (団体名及び代表者名)
	印

「鹿屋市自動体外式除細動器（A E D）貸出要領」の規定に基づき、A E Dを借用したいので、下記のとおり申請します。

なお、借用物品の取扱いについては、上記規定を遵守いたします。

1. 行事名					
2. 開催期間	平成 年 月 日 から	平成 年 月 日 まで			
3. 内容及び参加 予定人数	(参加予定人数) _____ 名				
4. 会場					
5. 借用期間	平成 年 月 日 から	平成 年 月 日 まで			
6. 借用台数	台				
7. 資格者(注1)	氏 名				
	資格種別	☐ 医師 ☐ 保健師 ☐ 看護師 ☐ 普通救命講習受講者 ☐ 消防士 ☐ その他 ()			
8. 使用責任者	住 所				
	氏 名		電話番号		

(注1) 資格者については、証明書類（免許証又は講習終了証等）の写しを添付してください。

返却日	平成 年 月 日	返却者		受領印	
-----	----------	-----	--	-----	--

第2号様式

A E D 使 用 実 績 報 告 書

平成 年 月 日

鹿屋市長 様

申 請 者	住所・電話	
	電話 ()	
	氏名 (団体名及び代表者名) 印	

借用したA E Dの使用について、下記のとおり報告します。

行事名		
使用場所		
使用日時	平成 年 月 日 (曜日) 午前・午後 時 分頃	
A E Dを操作 し た 人	性 別	男 ・ 女
	年 齢	
A E Dの使用 を受けた人	性 別	男 ・ 女
	年 齢	
A E Dを使用し た時の状況等	(分かる範囲でご記入ください。)	

報告日	平成 年 月 日	使用責任者		受領印	
-----	----------	-------	--	-----	--